

地域情報は膨大であり、 大きな可能性を秘めている

後藤 虎南さん



プロフィール ● ごとう こんなん
大分県大分市出身
平成20年別府大学を卒業後、平成21年に派遣元である株式会社ぐるなびに入社。
平成24年から鹿屋市役所産業振興課で2年間勤務。「かのやブランド」の推進業務等に従事。

◎鹿屋市で2年間暮らした感想を聞かせてください。

▲鹿屋に来る前は、東京に勤務していたのですが、出身は大分でしたので、同じ九州の鹿児島は元々行ってみたいところの一つでした。住んでみると人がとにかく面白く、またご飯が美味しかったので、非常に楽しかったです。他にも、バラや温泉もある、山や海も近く星空も綺麗、飛行機が低空で飛んでいたり、鹿児島への移動はフェリーを使ったりなど、この地域独特の雰囲気、生活を堪能できたかなと思います。

◎2年間で印象に残っているエピソードを教えてください。

▲仕事は『農家街コン』が一番忘れられない思い出です。現場を回る中で生産者の方々から出会いが少なくないとお声をいただき、企画・運営サイドで関わらせていただいたのですが、本当に多くの方に助けていただき感謝しています。運営もみんな初めてのことだったので四苦八苦しましたが、生産者の方からも『次回も参加したい。面白かった』と言っていただいたのが思い出深く残っています。仕事以外では昨年、ツールド大隅の110キロコースに参加したこ

とです。とにかくきつかったのですが、最後のばら園の坂を登り切ったときの達成感が何とも言えないくらい楽しかったです。

◎鹿屋の魅力を発掘し、「かのやファン倶楽部」等を通じて発信されましたが、「我が街の魅力」を見つけて出す方法や、魅力がより効果的に伝わるような心がけられたことを教えてください。

▲かのやファン倶楽部は鹿屋の情報を手軽に見ることができればという想いで立ち上げましたが、まだまだ完成度は4割程度です。それだけ地域情報というのには膨大であり、大きな可能性を秘めていると思います。魅力を見つけ出す方法は常にアンテナを張り巡らせることです。また、疑問に思ったことを調べたり検証してみると意外と知られていなかったことが見つかりました。そして、見つけた

素材を加工・デザインし、継続して発信することが大事です。私はフェイスブックで1日1投稿を心がけていて、毎日ネタがないといけないという状況に自分を追い込んでやっていました。

◎最後に、鹿屋市へのメッセージをお願いします。

▲この2年間で多くの方にご縁をいただきました。鹿屋の方々には本当に良くしていただき、第2の故郷かなと感じています。今後も、引き続き鹿屋のPRをしていきたいと思っています。

2年間に手がけた主な仕事



▲大阪開催のかのやよかとこフェアで、かのやファン倶楽部の会員を募集



▲大阪ドームで行われた鹿児島ファンデーで鹿屋をPR



▲かのやばら園のわくわく市で、マンガ教室を担当

「おもてなし」を肌で感じ

地域パワー、地域愛を体験

大槻 裕紀さん



プロフィール ● おおつき ひろき
千葉県市川市出身
平成19年日本大学を卒業後、平成19年に派遣元であるあいおいニッセイ同和損害保険株式会社に入社。
平成24年から鹿屋市役所商工観光課で2年間勤務。ばらを活かしたまちづくり、まちのにぎわいづくり等に従事。

◎鹿屋市で2年間暮らした感想を聞かせてください。

▲鹿児島県はもともと九州地方は初めて住む場所、鹿屋に来る前は、どのような場所なのか？と不安でした。しかし、温暖な気候のように、鹿屋の人達は人情味に溢れ、温かく迎え入れていただき、すぐに安心できました。また、トンカツやかのやカンパチをはじめ料理や焼酎も美味しく、とても充実した2年間となりました。私は、生まれも育ちもずっと変わらない場所「故郷（ふるさと）」と言える場所がなかったのですが、鹿屋はまた帰ってきたいと思

える、落ち着ける場所「故郷（ふるさと）」となりました。

◎2年間で印象に残っているエピソードを教えてください。

▲今まで「バラ」とは無縁でしたが、バラに対する知識が深まりました。バラの品種の多さ、花びら一つひとつの色や形の違いなど、ばらという生き物を育てる大変さを肌で感じとれたと思います。また、かのやばら祭りをはじめとする大きなイベントにスタッフとして参加したことで「おもてなし」の心を肌で感じる事ができ、市民・行政一体となつて鹿屋を盛り上げようという地域愛、パワーは

すごい!!と感じました。

◎「かのやばら祭り」や街の賑わいづくりなど、いずれも市民・企業・行政が一体となつて取り組む仕事を数多く経験されましたが、仕事をやる中で大槻さんが感じた醍醐味や、今後もっと改善できると感じた点があれば、教えてください。

▲様々な立場や考え方があつて、ひとつのテーマや目的に向けて取り組んでいくので、まとめていくという意味では難しいと感じる一方、達成できた時の喜びは大きいと思います。改善ではないですが、一つのことを達成するのに大切なことは、誰かに頼るのではなく、立場が違えど、目的に向かって主体的に取り組む必要があると感じました。

◎最後に、鹿屋市へのメッセージをお願いします。

▲この2年間で、仕事、プライベートで多くの方々と関わりを持って、この鹿屋で経験したことは、自身にとって大きな財産となりました。この一期一会の出会いや経験を大切に、鹿屋をはじめ大隅の素晴らしい人々、雄大な自然や豊富な食材など「よかとこ」を、転勤先の全国に広めて行きたいと思っています。2年間本当にありがとうございました。

2年間に手がけた主な仕事



▲ローズクイーン・はらちゃんと一緒に、山形屋で「かのやばら祭り」の出張PR



▲メディア及び旅行代理店などへ「かのやばら園」を体を持ってPR



▲商店街アルメグランアリアなど商店街イベントとコラボ



お気に入りスポット
浜田海岸からの夕陽